

第102回全国専門委員長会 議事録

平成25年2月16日(土) 13時30分～17時00分
平成25年2月17日(日) 9時00分～12時00分
会 場 学校法人成城学校 成城高等学校 会議室

次 第

資料確認

- 1 専門部長挨拶 丸 岡 禎
- 2 議長選出 全国高体連自転車競技専門部規約第28条第3項により専門部部長が議長を務める。
- 3 議事録署名人指名 同規約第29条により、(事務局)
山梨県委員長、山梨県立富士北稜高等学校 川上 等氏 及び
愛媛県委員長、松山聖陵高等学校 佃 安弘氏を推薦する。 承認
- 4 定足数確認 都道府県専門委員長総数47名中、出席数42名(代理1名)、委任状5名。
同規約第28条第1項により、本会議は成立。(事務局)
- 5 インターハイ謝辞 新潟県高体連自転車競技専門部委員長 小柳 勝 氏
- 6 審議事項
 - (1) 平成23年度収支報告および平成24年度予算(案)について (事務局)
上記会計報告について川上氏から監査報告
 - (2) 平成24年度事業報告(案)について (事務局)
 - (3) 平成24年度収支中間決算(案)について (事務局)
 - (4) 平成25年度事業計画(案)について (事務局)
 - (5) 平成25年度収支予算(案)について (事務局)承認
- (6) 役員選出規程改正(案)および理事長選出規程改正(案)について (総務部会)
別紙 改正(案) 資料参照 異議なし 承認
- (7) 自転車競技専門部規約改正(案)について (総務部会)
別紙 改正(案) 資料参照
- 「加盟校登録費」から「学校負担金」への名称変更について、賛成多数で承認された。
- (8) 指導者規程(案)について (総務部会)
別紙 新規制定「競技者及び指導者規程」(案) 資料参照
異議なし 承認
- (9) 技術審判部会提案事項について (技術審判部会)
別紙 提案事項参照
 - ・インターハイのケイリン参加総数変更と組み合わせの改訂について 承認
 - ・インターハイ 標準タイムの改訂について 承認
 - ・女子の公開競技の種目と選手選考について 承認
女子の選手選考は都道府県大会の記録も考慮する。ただし、500mTTと
2kmIPの2種目を計測すること。
 - ・大分インターハイの日程説明 承認
 - ・技術審判部会を競技運営部会に平成25年4月1日より名称変更 承認
- (10) 強化育成部会提案事項について (強化育成部会)
別紙参照 全国高体連強化合宿の参加選手選考について
 - ・6ブロックから3名ずつブロック合宿でオムニウムを実施し選考された選手
 - ・合宿における補助金を23年度並みでお願いします。
 - ・学校別トレーニング内容の紹介を予定している。
 - ・練習における安全対策のアンケートについて協力依頼
 - ・チョンジュMBC国際ロード参加希望調査3月29日締め切り 承認
 - ・平成24年度事業報告 ホームページ参照

- (11) 平成25年度全国高校総合体育大会について
(ア) 実施要項等について (技術審判部会・大分県実行委員会)
・塚崎氏より要項及び準備進捗状況の説明
・配宿関係のお願い
(イ) 競技日程について (技術審判部会・大分県実行委員会)
(ウ) 女子公開競技について (理事長)
・女子のみの参加校については7月31日別府市競輪場内メインスタンドで受け付け

- ・1～3位入賞者を表彰する。
- ・申し込みは事務局の北桑田高校に

- (12) 平成26年度全国高等学校選抜自転車競技大会の会場公募について (理事長)
トラックとロードともに1県開催が望ましい。選抜大会はJKAからの補助2/3、開催自治体に1/3負担を依頼せざるを得ない。今後継続的に開催地を確保していきたい。

承認

- (13) 役員改選について (選挙管理委員会)
理事長任期満了に伴う改選について推薦書が提出されたのが坂井田米治氏1名であった。選挙管理委員長伊藤氏より坂井田氏の再任が提案され全会一致で承認された。

- (14) その他

7 報告事項

- (1) 運動部活動による体罰根絶について (理事長)
全国高体連会長名の運動部活動における体罰根絶に向けての通知文を配付し、理事長より、適切な指導の周知徹底について説明があった。
- (2) 平成24年度全国高等学校選抜自転車競技大会について
各県から役員派遣にご協力いただき、円滑に役員配置が行えた。
- (ア) 大会参加案内について (総務部会)
(イ) 大会特別規則他について (技術審判部会)
上記について、ホームページにアップしているので、参加校に確認することを周知徹底お願いする。
- (3) 日本自転車競技連盟諸会議の報告について (理事長)
・橋元聖子氏がJCF会長に就任された。
・4月より公益財団法人に移行する予定である。財政の立て直しが急がれる。新法人に移行すれば6月に新役員選挙が行われる予定である。
- (4) JCF 競技者登録料の改定および競技者登録に付帯する賠償責任保険について (理事長)
競技者登録への保険付帯の背景説明と資料説明
競技者登録に個人賠償責任保険が加味されたので、選手登録料の値上げとなった。
- (5) 公道でのロード練習の安全対策について (理事長)
近年ロード練習中における事故、競技者自身が加害者となる事故が起こっている。社会情勢も自転車のマナーについて厳しい指導、罰則が強化される方向である。安全対策について周知徹底するとともに万が一に備え保険に加入していただきたい。
- (6) 全国高等学校体育連盟諸会議の報告について (理事長)
・自転車専門部における大会役員の派遣旅費の圧縮や効率化について検討されたい。
・ロード競技実施における経費の削減を推進する。また、ロード会場の固定化についても委員長会議で意見をいただきたい。(トラック、ロードの分離開催も可能)
・女子競技種目の正式種目化にむけた取り組みの推進。
- (7) 全国高体連登録選手の競技者規程について (理事長)
高体連加盟している学校が、実業団レースに出場する場合は各校において実業団に加盟して頂き高校のチームジャージでレースに出場することは可能である。
選手登録については、日本自転車競技連盟のライセンスで十分である。団体については加盟という言葉で整理する。

- (8) 日韓対抗学生自転車競技大会について (理事長)
自己資金100万,JKA 補助200万の予算規模であるため今後も開催可能だと思われる。25年度は大韓民国ナジュで10月に行われる予定である。
- (9) 平成25年度全国高等学校選抜自転車競技大会について (総務部会)
昨日報告
- (10) 平成26年度全国高校総合体育大会について (山梨県実行委員会)
山梨県 川上先生より別紙のとおり要項案が報告された。
- (11) 第5回全日本ステージレースについて (理事長)
別冊報告書参照
- (12) 各専門部会より
- ・総務部より
登録の際に女子競技者の把握をお願いしたい。
25年度各都道府県高体連への加盟には女子競技者の加盟数を加えてほしい。
25年度登録の際マネージャーも人数も反映させる様式に変更する。
 - ・技術審判部会より
別紙参照 第4回の部会報告 折本氏
全国大会におけるバンクの朝練習のあり方について検討していきたい。運営側の負担、練習における危険回避、安全面の観点から。選手の健康面から日程を1日延ばす(熊本中田氏)とか公式練習日を設定(鳥取河田氏)してはどうか。
 - ・強化部会より
シドニューース、高体連合宿の報告をホームページにアップしている。
- (13) その他
- ・熊本県より
全国高等学校選抜自転車競技大会ロードレース開催記念オープニングロードレースのご案内
 - ・福島県より
東日本大震災により被害を受けた泉崎国際サイクルスタジアムの修繕計画とそれに伴う加盟校からの寄付のお願い。
 - ・技術審判部会
25年度全国高体連加盟の選手についてはカテゴリー分けを行わずジュニアで統一する。
 - ・総務部会
インターハイや選抜大会のプログラムを選手顔写真やチーム紹介する形に検討します。
 - ・愛媛県 佃先生
26年度で事務局が一巡します。27年度以降の事務局のあり方について質問
理事長より・・・事務局の固定化を模索していきたい。